

安全データシート

1 – 物質/混合物質の特定と会社/事業者の特定

1.1. 物質/混合物質の特定:

- 1.1.1. 名称: 固体被膜形成性潤滑剤
1.1.2. 製品コード: 101EU

1.2. 物質/混合物質の使用と制限:

- 1.2.1. 使用: 潤滑化合物
1.2.2. 制限: 不明

1.3. 会社/事業主体の特定:

- 1.3.1 製造者/供給者: BALMAR, L.L.C.
唯一の代表: Blue Frog Scientific Limited
1.3.2. 所在地: 616 W. Pont Des Mouton Road
Lafayette, LA 70507 - 4002
唯一代表者所在地: 10 York Place
Zedinburgh, Midlothian, EH1 3EP UK
1.3.3. Eメール: info@oilcenter.com
(唯一代表者) REACH@bluefrogscientific.com
1.3.4. 電話 337-232-2496
唯一代表者電話: +44 (0) 131-523-1412
1.3.5. ファクス: 337-234-5825
1.3.6. 緊急電話連絡先: 01-703-527-3887

2 – ハザードの特定

2.1. EU 標識および分類:

当製品は欧州経済共同体 (EEC) ガイドラインが規定する以下の分類の定義に該当する

2.1.1. CLP 分類:

- 2.1.1.1. 象徴 : 既定なし
2.1.1.2. 信号語 : 既定なし
2.1.1.3. 使用上の注意: 既定なし
2.1.1.4. ハザード注意: 既定なし

2.1.2. DSD 分類:

- 2.1.2.1. 象徴 : 既定なし
2.1.2.2. 危険文言: 既定なし
2.1.2.3. 安全文言: 既定なし

注意および文言の全文についてはセクション 16 を参照のこと。

3 – 構成/内容物情報

3.1. 物質:

CAS No.	EC No.	名称	REACH 登録 No.	範囲(%)	DSD	CLP
製品は REACH 規程によって危険とみなされる物質を含んでいない						

構成物質についてのコメント:

危険文言の表記についてはセクション 16 を参照のこと

当製品は SVHC (認可に際して極めて危険されるべき物質の候補リスト) に上げられている物質を含んでいない。

4 – 救急処置

4.1. 救急処置の方法:

一般的対処法として、疑いがある場合、あるいは症状が継続する場合は必ず医師に相談すること。

汚染された衣服は直ちに脱ぐこと。

意識不明の人には決して飲み込ませないこと。

4.1.1 暴露経路:

- 4.1.1. 吸引 : 新鮮な空気に当てる。咳が止まらない場合は医師に見せること。
4.1.2. 目 : すぐに十分な真水で最低 15 分ほど、まぶたを閉じずに目を洗い流すこと。
4.1.3. 飲み込み: 吐かせないこと。意識がある場合は大量の水を飲むこと。医師にすぐに見せること。
4.1.4. 皮膚 : 使用後は石けんと水でよく洗うこと。

5 – 消火処置

5.1. 消化剤:

- 5.1.1. **適した消化剤** : 二酸化炭素、乾燥化学物質、泡、または霧状の水
- 5.1.2. **適さない消化剤**: 水のジェット噴射は推奨できない。

5.2. 物質および混合物質または燃焼物質から放出される可能性のある特殊な暴露危険有害物質:

930 F (499°C)以上になると有害な煙を発生する可能性がある。

5.3. 消火作業のための特殊な防護用器具:

消火作業にあたっては、大気より圧力の高い密閉式呼吸器具を使用すること。

5.4. 追加情報:

機械的衝撃あるいは静電放電などによる爆発危険性は知られていない。

6 – 流出した場合の処置

6.1. 事前注意事項 :

- 6.1.1. **個人**: 通常の使用下における事前注意事項は不要
- 6.1.2. **環境**: 排水経路や地下水、土壌に流れ込まないようにすること。

6.2. 除去の方法:

回収し、容器に入れて廃棄処理すること。

6.3. その他の情報:

許可された産業廃棄物の処理場を使用する。
環境法規を遵守して物質およびその容器の処理をする。

6.4. その他の項目についての参照事項 :

セクション7、8の安全対策を参照すること。
回収された廃棄物はセクション13に応じて処理すること。

7 – 取扱いと保管

保管場所に関連する法規は製品を取り扱う作業場に適用される。

7.1. 安全な取扱いのための留意点:

産業衛生を保つこと

7.2. 火災および爆発防止のための留意点:

極端な高温を避けること

7.3. 保管室と容器の要件 :

本来の容器から移さず、使用しない時は密閉を保つ。

7.4. 適切な保管のための留意点:

強酸化剤との保存は避ける

7.5. 保管条件の追加情報:

不明

8 – 暴露制御 – 個人防御

8.1. 暴露の限界:

有害成分	国	暴露限界	限界値	その他
本製品は REACH 基準で危険有害とされる物質を含んでいない				

8.2. 防御:

- 8.2.1. 呼吸器: 正常な使用状況下では不要
8.2.2. 目: 不測のはねなどに備え、安全用ゴーグルを着用
8.2.3. 手: 長時間接触する時は、ニトリル製かネオプレン製手袋を着用
8.2.4. 皮膚: オーバーオールを着用

8.3. 一般的な防御対策:

不明

8.4. 衛生対策:

良好な産業衛生を保つこと。

9 – 物理的および化学的特性

9.1. 形状	-	ペースト	9.11. 蒸気圧 [kPa]	-	該当せず
9.2. 色	-	緑色	9.12. 密度 [lb./gal @ 25°C]	-	7.7
9.3. 臭い	-	軽い石油臭	9.13. 比重	-	0.922
9.4. pH 値 [1%]	-	該当せず	9.14. 水溶解性	-	<1%
9.5. 沸点 [°C]	-	該当せず	9.15. 粘性	-	該当せず
9.6. 発火点 [°C]	-	>234	9.16. 酸化特性	-	該当せず
9.7. 爆発上限	-	該当せず	9.17. 蒸発量	-	該当せず
9.8. 爆発下限	-	該当せず	9.18. 融点 [°C]	-	>260
9.9. 自然発火温度 [°C]	-	不明	9.19. 可燃性 [°C]	-	不明
9.10. 空気中相対蒸気密度	-	該当せず			

10 – 安定性と反応性

- 10.1. 安定性: 推奨される保存状態の下では安定している。
- 10.2. 危険反応の可能性: 不明
- 10.3. 反応性: 推奨される保存状態の下では反応しない。
- 10.4. 避けるべき物質: 強酸化剤との接触や同一箇所での保管は避ける。
- 10.5. 避けるべき状態: 極端な高温にさらすことは避ける。
- 10.6. 危険分解生成物: 不完全燃焼は一酸化炭素および各種の炭化水素を発生させることがある。

11 – 毒性情報

11.1. 毒性効果についての情報:

11.1.1. 強い毒性

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.2. 皮膚腐食/炎症

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.3. 重大な目への害/刺激

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.4. 呼吸器または皮膚への感作:

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.5. 生殖細胞変異原性

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
生体外試験での遺伝毒性の徴候はない						

11.1.6. 発がん性

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.7. 生殖毒性

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.8. CMR 特性評価の概略

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.9. STOT (特定標的臓器毒性) – 一回のみの暴露

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.10. STOT (特定標的臓器毒性) – 繰り返しの暴露

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

11.1.11. 吸飲有害性

有害成分	対処法	種	暴露経路	影響のある量	暴露時間	結果
データなし						

上記の毒性データは個々の物質の毒性に基づいたもので、混合物質の毒性では無い。

12 – 環境的情報

12.1 毒性:

12.1.1. 急性（短期間）の毒性

- 12.1.1.1 魚類 :不明
- 12.1.1.2. 甲殻類 :不明
- 12.1.1.3. 藻類/水性植物 :不明
- 12.1.1.4. その他の生命体 :不明

12.1.2. 慢性（長期間）の毒性

- 12.1.2.1. 魚類 :不明
- 12.1.2.2. 甲殻類 :不明
- 12.1.2.3. 藻類/水生植物 :不明

12.2 残留性および分解性:

- 12.2.1. 非生物分解 該当せず
- 12.2.2. 物理的および光化学的消滅 該当せず
- 12.2.3. 生物分解 該当せず

12.3. 生体蓄積性:

- 12.3.1. 分配係数 N-オクタノール/水 (LOG KOW) 該当せず
- 12.3.2. 生物濃縮係数 (BCF): 該当せず

12.4. 土壌流動性:

- 12.5.1. 環境区分への知られている、あるいは予想される拡散 不明
- 12.5.1. 表面張力 不明
- 12.5.2. 吸着/脱離 不明

12.5. PBT(難分解性化学物質)およびvPvB(極難分解性/猛毒性)調査:

不明

12.6. その他の有害性:

不明

12.7. 追加情報:

上記に提供されたデータは個々の成分のものであり、混合物全体のデータではない

13 – 廃棄時の留意事項

13.1. 当製品における推奨される廃棄:

正規の規程に基づいて廃棄する。

13.2. 推奨される梱包:

正規の規程に基づいて廃棄する。

14 – 輸送に関する情報

- 14.1. UN ナンバー: なし
 - 14.2. UN 適正出荷名称: なし
 - 14.3. 輸送危険区分: なし
 - 14.4. 梱包グループ: なし
 - 14.5. 環境ハザード(有害性): なし
 - 14.6. 特別な事前注意事項: なし
 - 14.7. 大量輸送: なし
-

15 – 規制情報

15.1. 区分についての備考:

当製品は EC の指針により区分され標識化される。

EU(欧州連合)内の輸送関連の情報についてはセクション 14 を参照のこと。危険有害性物質の特定についてはセクション 2 を参照のこと。

ADR:	規制外	DOT:	規制外
RID:	規制外	IMDG:	規制外
IATA:	規制外		

16 – その他の情報

16.1. 変更の表記: REACH 準拠免責の削除

16.2. 略語と頭字語:

TLV -	限界値
PEL -	個人暴露レベル
IMDG -	国際海上危険物
ADR -	危険物国際道路輸送におけるヨーロッパ合意
RID -	鉄道による危険物国際輸送における規程
GHS -	グローバル調和システム (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
CLP -	分類、標識化および梱包
OSHA -	労働安全衛生局
LD ₅₀ -	致死量: 50%の人が死ぬ毒物の量
LC ₅₀ -	致死濃度: 50%の人が死ぬ毒物の濃度

16.3. 重要参考文献およびデータの出典:

ESIS 分類および標識化- <http://ecb.jrc.ec.europa.eu/clp/ghs/subDetail.php>

CDC/NIOSH 化学物質の毒性レジストリ – <http://www.cdc.gov/niosh-rtecs/ZH496510/html>

16.4. 免責:

ここに記載された情報はわれわれが入手できたデータに基づき、最善の専門的判断によるものである。われわれの製品がどのような条件下で使われるかは予測ができないため、われわれはこの推奨事項がすべての人、またすべての状況において十分であることを保証することはできない。当製品の使用者は危険有害性ゼロまたは最低限を基準として適切な使用法を判断するべきである。われわれの製品は日々改善されており、より少ない、あるいはゼロの有害危険要素を追求する中、サプライヤーから常に最新の調査データを入手している。最新情報についてはお気軽にお問い合わせください。